

令和2年度 継続中事業の自己評価結果

再評価 実施対象 年度	再評価対象事業					再評価対象外事業				自己評価			
	再評価時点	A～Cの 現状				再評価 時点	現状			対象事業	結果 ※3		
		うち A～C ※1	継続事業 自己評価 対象事業	完了	計画変更 事業休止等		継続事業 自己評価 対象事業	完了	計画変更 事業休止等		ア	イ	ウ
平成28年度	17事業	16事業	14事業	—	※2 2事業	2事業	1事業	1事業	—	15事業	3事業	2事業	10事業
平成29年度	6事業	5事業	2事業	—	3事業	—	—	—	—	2事業	1事業	—	1事業
平成30年度	16事業	16事業	16事業	—	—	6事業	6事業	—	—	※2 24事業	12事業	1事業	11事業
計	39事業	37事業	32事業	—	5事業	8事業	7事業	1事業	—	41事業	16事業	3事業	22事業

※1 【対応方針】

- 事業継続(A)：完了時期を宣言し、重点的に実施するもの
- 事業継続(B)：予算の範囲内で着実に継続実施するもの
- 事業継続(C)：限定的な実施にとどまるもの

※2 【対象事業数】

- 平成30年度に都市計画変更を実施したため、
- 平成30年度の自己評価対象事業に加える

※3 【自己評価結果】

- ア：計画どおりに進捗している
- イ：計画どおりに進捗している（事業費進捗率は計画未滿）
- ウ：計画どおりに進捗していない

事業再評価後の取組状況 - 平成28年度 事業再評価実施事業

【対応方針】 事業継続(A)：完了時期を宣言し、重点的に実施するもの  
 事業継続(B)：予算の範囲内で着実に継続実施するもの  
 事業継続(C)：限定的な実施にとどまるもの

【自己評価結果】 ア：計画どおりに進捗している  
 イ：計画どおりに進捗している（事業費進捗率は計画未満）  
 ウ：計画どおりに進捗していない

(単位:億円)

番号	事業種別 [事業所管局] 事業名	事業再評価時点 (対象外事業は未記入)		自己評価時点									
		対応 方針	今後の取組方針	取組状況					元年度の取組内容	自己評価結果 計画どおりに進捗していない、全体事業費や事業期間の変更をした場合の理由			
				28年度 (事業再評価時)	29年度	30年度	元年度	2年度					
H28-01	街路事業 [建設局] 河堀口舍利寺線 整備事業	事業継続 (A)	用地買収が難航しており事業が長期化しているが、住民からは早期整備を求める嘆願書も提出されていることから、重点的に予算を確保し、面的整備としての生野南部地区整備事業の完了年度である平成31年度の概成及び平成34年度の事業完了をめざす。	計画	事業費	全体	55	55	55	55	55	用地取得に向け、用地交渉を行い、事業進捗を図った。	[自己評価結果]  ウ  [計画どおりに進捗していない理由] 重点的な予算確保に取り組み、用地取得を進め、着実に事業進捗を図ったが、権利者との用地交渉に時間を要し、計画していた進捗率には達していない。  [事業計画の変更理由] 上記の理由により、完了年度の見直しが必要となったため。
						累計	44	45	46	47	48		
						進捗率	79%	82%	84%	86%	87%		
				完了年度	R6	R6	R6	R6	R6				
				実績	事業費	全体	55	55	55	55			
						累計	44	45	46	47			
進捗率	79%	82%	84%			85%							
完了年度	R4	R4	R4	R6									
H28-02	街路事業 [建設局] 鞍作線整備事業	事業継続 (C)	限られた予算の中で本路線への重点的な予算の配分は難しく、買取要望への対応など限定的な事業実施となり、事業完了には長時間を要するが、今後、事業中の重点化路線の事業収束に伴い、予算の確保ができれば、残る用地取得と道路整備を進め、事業効果の早期発現に努める。	計画	事業費	全体	25	25	25	25	25	用地取得を行い、事業進捗を図った。	[自己評価結果]  ア  [理由]
						累計	22	22	22	22	22		
						進捗率	89%	89%	89%	89%	89%		
				完了年度	R7	R7	R7	R7	R7				
				実績	事業費	全体	25	25	25	25			
						累計	22	22	22	22			
進捗率	89%	89%	89%			89%							
完了年度	R7	R7	R7	R7									
H28-03	街路事業 [建設局] 尼崎堺線(西成南)整備事業	事業継続 (C)	限られた予算の中で本路線への重点的な予算の配分は難しく、買取要望への対応など限定的な事業実施となり、事業完了には長時間を要するが、今後、事業中の重点化路線の事業収束に伴い、予算の確保ができれば、残る用地取得と道路整備を進め、事業効果の早期発現に努める。	計画	事業費	全体	114	114	114	114	114	用地取得及び道路整備を行い、事業進捗を図った。	[自己評価結果]  ウ  [計画どおりに進捗していない理由] 都市計画道路の整備について優先度の考え方を整理し、平成28年9月に都市計画道路の整備プログラムを策定した。その結果、本路線は、重点的に予算確保に取り組み、事業を実施する路線(事業継続A)となることから、用地取得を進め、取得済みの区間は歩道整備を実施するなど、着実に事業進捗を図ったが、権利者との用地交渉に時間を要し、計画していた進捗率には達していない。
						累計	65	66	69	74	79		
						進捗率	57%	58%	60%	65%	69%		
				完了年度	R10	R10	R10	R10	R10				
				実績	事業費	全体	114	114	114	114			
						累計	65	67	68	69			
進捗率	57%	59%	60%			61%							
完了年度	R10	R10	R10	R10									
H28-04	街路事業 [建設局] 十三吹田線整備 事業	事業継続 (C)	限られた予算の中で本路線への重点的な予算の配分は難しく、買取要望への対応など限定的な事業実施となり、事業完了には長時間を要するが、今後、事業中の重点化路線の事業収束に伴い、予算の確保ができれば、残る用地取得と道路整備を進め、事業効果の早期発現に努める。	計画	事業費	全体	68	68	68	68	68	用地取得を行い、事業進捗を図った。	[自己評価結果]  ウ  [計画どおりに進捗していない理由] 都市計画道路の整備について優先度の考え方を整理し、平成28年9月に都市計画道路の整備プログラムを策定した。その結果、本路線は、予算の範囲内で着実に実施する路線(事業継続B)となることから、用地取得を進め、一定の事業進捗を図ったが、権利者との用地交渉に時間を要し、計画していた進捗率には達していない。
						累計	14	16	21	26	31		
						進捗率	20%	24%	31%	38%	46%		
				完了年度	R10	R10	R10	R10	R10				
				実績	事業費	全体	68	68	68	68			
						累計	14	14	14	23			
進捗率	20%	20%	20%			34%							
完了年度	R10	R10	R10	R10									

事業再評価後の取組状況 - 平成28年度 事業再評価実施事業

【対応方針】 事業継続(A)：完了時期を宣言し、重点的に実施するもの  
 事業継続(B)：予算の範囲内で着実に継続実施するもの  
 事業継続(C)：限定的な実施にとどまるもの

【自己評価結果】 ア：計画どおりに進捗している  
 イ：計画どおりに進捗している（事業費進捗率は計画未満）  
 ウ：計画どおりに進捗していない

(単位:億円)

番号	事業種別 [事業所管局] 事業名	事業再評価時点 (対象外事業は未記入)		自己評価時点									
		対応 方針	今後の取組方針	取組状況					元年度の取組内容	自己評価結果 計画どおりに進捗していない、全体事業費や事業期間の変更をした場合の理由			
				28年度 (事業再評価時)	29年度	30年度	元年度	2年度					
H28-05	街路事業 [建設局] 天王寺大和川線 整備事業	事業継続 (B)	JR阪和線の高架化工事事業の完了後、既に広大な空間が広がっている状況から本事業への地域の関心は高まっており、依然として事業の必要性も高いことから、引き続き地域等と調整を図りながら、予算の範囲内で着実な事業実施に努め、完了予定年度の完成に向けて取組む。	計画	事業費	全体	942	942	942	942	942	用地取得及び道路設計を行い、事業進捗を図った。	[自己評価結果] ウ [計画どおりに進捗していない理由] 予算の範囲内で着実に用地取得を進めるなど、一定の事業進捗を図ったが、権利者との用地交渉に時間を要し、計画していた進捗率には達していない。
						累計	738	779	804	828	852		
						進捗率	78%	83%	85%	88%	90%		
				完了年度		R10	R10	R10	R10	R10			
				実績	事業費	全体	942	942	942	942			
						累計	738	775	797	811			
						進捗率	78%	82%	85%	86%			
完了年度		R10	R10	R10	R10								
H28-06	街路事業 [建設局] 長柄塚線整備事業	事業継続 (A)	本路線は、道路ネットワークの形成を図るため、阿倍野再開発事業と連携した整備が必要な路線として予算を確保し、用地取得完了後、集中的に工事を実施するなど、完了予定年度での完成に向けて重点的に事業を実施する。	計画	事業費	全体	5	5	5	5	5	用地取得を行い、事業進捗を図った。	[自己評価結果] ウ [計画どおりに進捗していない理由] 都市計画道路の整備について優先度の考え方を整理し、平成28年9月に都市計画道路の整備プログラムを策定した。その結果、本路線は、予算の範囲内で着実に実施する路線（事業継続B）となることから、用地取得を進め、一定の事業進捗を図ったが、権利者との用地交渉に時間を要し、計画していた進捗率には達していない。
						累計	1	1	4	5	5		
						進捗率	15%	20%	67%	85%	87%		
				完了年度		R3	R3	R3	R3	R3			
				実績	事業費	全体	5	5	5	5			
						累計	1	2	2	3			
						進捗率	15%	33%	35%	60%			
完了年度		R3	R3	R3	R3								
H28-07	街路事業 [建設局] 木津川平野線整備事業	事業継続 (A)	本路線は、道路ネットワークの形成や地域の防災機能向上のためにも整備が必要な路線として予算を確保し、用地取得完了後、集中的に工事を実施するなど、完了予定年度での完成に向けて重点的に事業を実施する。	計画	事業費	全体	121	121	121	121	121	用地取得を行い、事業進捗を図った。	[自己評価結果] ウ [計画どおりに進捗していない理由] 重点的な予算確保に取り組み、精力的に用地取得を進め、着実に事業進捗を図ったが、権利者との用地交渉に時間を要し、計画していた進捗率には達していない。
						累計	4	16	24	32	40		
						進捗率	4%	14%	20%	27%	33%		
				完了年度		R10	R10	R10	R10	R10			
				実績	事業費	全体	121	121	121	121			
						累計	4	7	12	17			
						進捗率	4%	5%	10%	14%			
完了年度		R10	R10	R10	R10								
H28-08	道路事業 [建設局] 市道西成区第369号線道路改良事業	事業継続 (B)	本路線は、歩行者等の安全対策ならびに自動車交通の円滑化、さらに防災機能向上のためにも整備が必要な路線として、予算の範囲内で着実な事業実施に努め、完了予定年度での完成に向けて取組む。	計画	事業費	全体	23	23	23	23	23	道路整備に向けた設計を進めるために関係先と調整を行い、事業進捗を図った。	[自己評価結果] ウ [計画どおりに進捗していない理由] 予算の範囲内で道路整備に向けた設計を進めるため関係先と調整を行い、一定の事業進捗を図ったが、計画していた進捗率には達していない。
						累計	19	21	23	23	23		
						進捗率	82%	89%	97%	99%	100%		
				完了年度		R2	R2	R2	R2	R2			
				実績	事業費	全体	23	23	23	23			
						累計	19	19	19	19			
						進捗率	82%	82%	82%	82%			
完了年度		R2	R2	R2	R3								

事業再評価後の取組状況 - 平成28年度 事業再評価実施事業

【対応方針】 事業継続(A)：完了時期を宣言し、重点的に実施するもの  
 事業継続(B)：予算の範囲内で着実に継続実施するもの  
 事業継続(C)：限定的な実施にとどまるもの

【自己評価結果】 ア：計画どおりに進捗している  
 イ：計画どおりに進捗している（事業費進捗率は計画未満）  
 ウ：計画どおりに進捗していない

(単位:億円)

番号	事業種別 [事業所管局] 事業名	事業再評価時点 (対象外事業は未記入)		自己評価時点									
		対応 方針	今後の取組方針	取組状況					元年度の取組内容	自己評価結果			
				28年度 (事業再評価時)	29年度	30年度	元年度	2年度					
H28-09	橋梁整備事業 [建設局] 主要地方道大阪狭山線(下高野橋)橋梁架替事業	事業継続(A)	新橋架設工事が平成23年度に完了し、既設橋梁撤去までの目途も立っていることから、平成29年度の事業完了をめざす。	計画	事業費	全体	29	29	29	29	29	用地取得に向けて権利者と協議中である。	[自己評価結果]  ウ  [計画どおりに進捗していない理由] 用地取得について、権利者との協議に時間を要しているため。
						累計	26	29	29	29	29		
						進捗率	89%	98%	98%	98%	98%		
				完了年度		H29	R3	R3	R3	R3			
				実績	事業費	全体	29	29	29	29			
						累計	26	29	29	29			
						進捗率	89%	98%	98%	98%			
完了年度	H29	R3	R3			R3							
H28-10	住宅地区改良事業 [都市整備局] 長橋住宅地区改良事業	事業継続(B)	権利者に対し粘り強い交渉を行いながら、用地取得を進め、計画的な改良住宅の建設・施設整備を行うなど、早期事業完了に向けて事業を実施する。	計画	事業費	全体	90	90	90	90	90	平成30年度に事業協力を得られた、未買収用地の大部分を占める大地主の用地買収を開始し、令和元年度分の買収を行った。 また、これまで建物の調査を行うなど別途調整を続けてきた権利者2件についても、不良住宅除却及び用地取得を行った。	[自己評価結果]  ウ  [計画どおりに進捗していない理由] 事業開始から20年以上が経過しており、用地買収等にかかる権利者との調整及び交渉に想定以上の時間を要したため、計画どおりの進捗には至っていないが、懸案だった大地主用地の買収を昨年度から開始しており、事業が大きく進捗している。
						累計	65	70	82	88	90		
						進捗率	72%	79%	92%	98%	100%		
				完了年度		R2	R2	R2	R2	R2			
				実績	事業費	全体	90	90	90	90			
						累計	65	66	66	67			
						進捗率	72%	73%	73%	74%			
完了年度	R2	R2	R2			R2							
H28-11	港湾公害防止対策事業 [港湾局] 大阪港内公害防止対策事業	事業継続(C)	平成30年度までは短期で完了させる必要がある堤防の耐震対策箇所を優先するため限定的な事業実施となるが、それ以後は事業の重点化を図り、濃度の高い箇所を優先的に除去する等、効率的な実施により平成41年度の完了をめざす。なお、これまで未着手であった高濃度ダイオキシン類対策についても平成28年度に試験工事を行う等、早期の対策完了に向けて取り組んでいく。また、港湾局単独ではなく、全庁横断的に環境改善に取り組めるよう検討していく。	計画	事業費	全体	147	147	147	147	147	木津川、木津川運河及び河口付近の底質除去を実施し、進捗率15%を達成した。	[自己評価結果]  ア  [理由]
						累計	14	18	20	22	24		
						進捗率	9%	12%	14%	15%	16%		
				完了年度		R11	R11	R11	R11	R11			
				実績	事業費	全体	147	147	147	147			
						累計	17	18	20	22			
						進捗率	11%	12%	14%	15%			
完了年度	R11	R11	R11			R11							
H28-12	国際競争拠点都市整備事業(うめきた2期区域基盤整備) [建設局] JR東海道線支線地下化事業	事業継続(A)	うめきたのまちづくり実現に向けて、着実に事業を推進する。	計画	事業費	全体	540	540	540	540	540	躯体工事等、うめきたのまちづくり実現に向けた基盤整備を実施した。	[自己評価結果]  イ  [事業費が計画を下回った理由] 事業を進めていく中で、埋設管理者や道路管理者との協議を行い、その結果を踏まえて、事業の単年度毎の工程や鉄道事業者との費用負担割合を見直したこと等により、令和元年度の実績は事業費では計画を下回るものの、事業は計画どおりに進捗しており、2023年春の地下化切替への影響は無い。
						累計	7	133	206	279	342		
						進捗率	1%	25%	38%	52%	63%		
				完了年度		R5	R5	R5	R5	R5			
				実績	事業費	全体	540	540	540	540			
						累計	7	127	171	250			
						進捗率	1%	23%	32%	46%			
完了年度	R5	R5	R5			R5							

事業再評価後の取組状況 - 平成28年度 事業再評価実施事業

【対応方針】 事業継続(A)：完了時期を宣言し、重点的に実施するもの  
 事業継続(B)：予算の範囲内で着実に継続実施するもの  
 事業継続(C)：限定的な実施にとどまるもの

【自己評価結果】 ア：計画どおりに進捗している  
 イ：計画どおりに進捗している（事業費進捗率は計画未満）  
 ウ：計画どおりに進捗していない

(単位:億円)

番号	事業種別 [事業所管局] 事業名	事業再評価時点 (対象外事業は未記入)		自己評価時点													
		対応 方針	今後の取組方針	取組状況					元年度の取組内容	自己評価結果							
				28年度 (事業再評価時)	29年度	30年度	元年度	2年度									
H28-13	国際競争拠点都市整備事業(うめきた2期区域基盤整備) [都市整備局] 大阪駅北大深西地区土地区画整理事業	事業継続(A)	うめきたのまちづくり実現に向けて、着実に事業を推進する。	計画	事業費	全体	262	262	262	446	446	建物移転、埋設物移設工事等、うめきたのまちづくり実現に向けた基盤整備を実施した。  [自己評価結果]  イ  [事業計画の変更理由] 新駅整備に係る費用分担の見直しや、今後の区画整理事業の確実な執行に必要な事業費の確保を行うため、全体事業費が増となる事業計画の変更を令和元年9月に行った。  [事業費が計画を下回った理由] その後、事業を進めていく中で、下水道やNTT管路等埋設物の敷設・移設工事の協定や年度毎の費用負担契約を各埋設企業体と締結するにあたり、単年度毎の工程や費用負担割合を見直したこと等により、令和元年度の実績は事業費では計画を下回るものの、事業は計画どおりに進捗しており、令和6年の先行まちびらきへの影響は無い。					
						累計	6	61	84	91	142						
						進捗率	2%	23%	32%	20%	32%						
					完了年度		R8	R8	R8	R8	R8						
					実績	事業費	全体	262	262	262	446						
							累計	40	49	60	84						
				進捗率			15%	19%	23%	19%							
				完了年度		R8	R8	R8	R8								
				H28-14	国際競争拠点都市整備事業(うめきた2期区域基盤整備) [都市計画局] うめきた新駅設置事業	事業継続(A)	うめきたのまちづくり実現に向けて、着実に事業を推進する。	計画	事業費	全体	98		98	98	98	98	躯体工事等、うめきたのまちづくり実現に向けた基盤整備を実施した。  [自己評価結果]  ア  [理由]
										累計	0.2		10	21	33	45	
進捗率	0.2%	10%	22%							34%	46%						
完了年度		R5	R5						R5	R5	R5						
実績	事業費	全体	98						98	98	98						
		累計	0.2						9	19	38						
		進捗率	0.2%					10%	19%	38%							
	完了年度		R5					R5	R5	R5							
H28-15	道路事業 [建設局] 主要地方道住吉八尾線道路改良事業							計画	事業費	全体	15	15	15	15	15	用地取得に向け、用地交渉を行い、また道路整備を行うことで事業進捗は図った。  [自己評価結果]  ウ  [計画どおりに進捗していない理由] 予算の範囲内で道路整備を実施し、一定の事業進捗を図ったが、用地交渉においては権利者との交渉に時間を要したため、計画していた進捗率には達していない。	
										累計	13	14	14	14	15		
				進捗率	91%	94%	96%			98%	100%						
				完了年度		R2	R2		R2	R2	R2						
				実績	事業費	全体	15		15	15	15						
						累計	13		13	13	13						
						進捗率	91%	91%	91%	92%							
					完了年度		R2	R2	R2	R2							

事業再評価後の取組状況 - 平成29年度 事業再評価実施事業

【対応方針】 事業継続(A)：完了時期を宣言し、重点的に実施するもの  
 事業継続(B)：予算の範囲内で着実に継続実施するもの  
 事業継続(C)：限定的な実施にとどまるもの

【自己評価結果】 ア：計画どおりに進捗している  
 イ：計画どおりに進捗している（事業費進捗率は計画未満）  
 ウ：計画どおりに進捗していない

(単位:億円)

番号	事業種別 [事業所管局] 事業名	事業再評価時点 (対象外事業は未記入)		自己評価時点									
		対応方針	今後の取組方針	取組状況					元年度の取組内容	自己評価結果 計画どおりに進捗していない、全体事業費や事業期間の変更をした場合の理由			
				29年度 (事業再評価時)	30年度	元年度	2年度	3年度					
H29-01	連続立体交差事業 [建設局] 阪急電鉄京都線・千里線連続立体交差事業	事業継続(A)	本事業については、踏切除却により都市交通の円滑化、踏切事故解消、都市防災性の向上が図れることから、事業を継続することとし、今後の用地取得の推進、事業費確保の取組により、平成39年度までの完了に向け重点的に実施する。	計画	事業費	全体	1,625	1,625	1,625	1,625	1,625	予算確保に努め、計画的な効果構造物の構築を行った。	[自己評価結果]  ア  [理由]
						累計	766	975	1,121	1,202	1,283		
						進捗率	47%	60%	68%	74%	79%		
					完了年度	R9	R9	R9	R9	R9			
				実績	事業費	全体	1,625	1,625	1,625				
						累計	766	975	1,121				
						進捗率	47%	60%	68%				
					完了年度	R9	R9	R9					
H29-02	街路事業 [建設局] 淀川南岸線整備事業	事業継続(A)	淀川左岸線や淀川左岸線延伸部に合わせて、着実に事業を推進する。	計画	事業費	全体	62	62	62	62	62	淀川左岸線(2期)事業に伴う阪急交差部工事、移設補償及び設計業務等を実施。	[自己評価結果]  ウ  [理由] 国の配分額が要望額を下回ったため、事業費進捗率は計画未満となっているが、事業計画上の実施すべき工事等は、遅延なく進捗しており、事業としては計画どおり着実に進んでいる。
						累計	7	8	12	17	21		
						進捗率	11%	12%	20%	27%	34%		
					完了年度	R13	R13	R13	R13	R13			
				実績	事業費	全体	62	62	62				
						累計	7	7	9				
						進捗率	11%	11%	15%				
					完了年度	R13	R13	R13					

事業再評価後の取組状況 - 平成30年度 事業再評価実施事業

【対応方針】 事業継続(A)：完了時期を宣言し、重点的に実施するもの  
 事業継続(B)：予算の範囲内で着実に継続実施するもの  
 事業継続(C)：限定的な実施にとどまるもの

【自己評価結果】 ア：計画どおりに進捗している  
 イ：計画どおりに進捗している（事業費進捗率は計画未満）  
 ウ：計画どおりに進捗していない

(単位:億円)

番号	事業種別 [事業所管局] 事業名	事業再評価時点 (対象外事業は未記入)		自己評価時点															
		対応 方針	今後の取組方針	取組状況					元年度の取組内容	自己評価結果 計画どおりに進捗していない、全体事業費や事業期間の 変更をした場合の理由									
				30年度 (事業再評価時)	元年度	2年度	3年度	4年度											
H30-01	街路事業 [建設局] 歌島豊里線整備 事業	事業継続 (A)	今後、平成36年に予定している阪急 電鉄京都線・千里線連続立体交差事業 による高架切り替え後の、速やかな交 差部の整備へ向けて、重点的に事業を 実施し、平成39年度の事業完了をめざ す。	計画	事業費	全体	247	247	247	247	247	用地取得に向け、用地 交渉を行い、事業進捗を 図った。	[自己評価結果]  ア  [理由]						
						累計	241	241	241	241									
						進捗率	98%	98%	98%	98%	98%								
					完了年度	R9	R9	R9	R9	R9									
					実績	事業費	全体	247	247										
							累計	241	241										
				進捗率			98%	98%											
				完了年度		R9	R9												
				H30-02	街路事業 [建設局] 本庄西天満線 (神山) 整備事 業	事業継続 (B)	今後、当面は予算の範囲内で進捗を はかり、優先的に進める他の路線の収 束に伴い予算が確保でき次第、本格的 に残る用地取得と道路整備を進め、平 成39年度での事業完了をめざす。	計画	事業費	全体	191			191	191	191	191	用地取得に向けた調査 を行い、事業進捗を図っ た。	[自己評価結果]  ウ  [計画どおりに進捗していない理由] 予算の範囲内で用地取得に向けた調査を実施し、一定 の事業進捗を図ったが、権利者との用地交渉に時間を要 し、計画していた進捗率には達していない。
										累計	165			165	166	167	171		
進捗率	86%	87%	87%							87%	90%								
完了年度	R9	R9	R9						R9	R9									
実績	事業費	全体	191						191										
		累計	165						165										
		進捗率	86%					86%											
	完了年度	R9	R9																
H30-03	街路事業 [建設局] 東野田河堀口線 (大手前) 整備 事業	事業継続 (B)	今後、当面は予算の範囲内で進捗を はかり、優先的に進める他の路線の収 束に伴い予算が確保でき次第、本格的 に残る用地取得と道路整備を進め、平 成36年度での事業完了をめざす。					計画	事業費	全体	22	22	22	22	22	用地取得を行い、事業 進捗を図った。	[自己評価結果]  ア  [理由]		
										累計	14	14	14	19	19				
				進捗率	64%	64%	64%			83%	87%								
				完了年度	R6	R6	R6		R6	R6									
				実績	事業費	全体	22		22										
						累計	14		16										
						進捗率	64%	72%											
					完了年度	R6	R6												
				H30-04	街路事業 [建設局] 尼崎平野線 (山 王) 整備事業	事業継続 (A)	平成32年度までの防災骨格形成へむ け重点的に事業を実施し、その後も引 き続き、用地確保できた区間から段階 的に道路整備を進め、平成37年度での 事業完了をめざす。	計画	事業費	全体	47	47	47	47	47			用地取得を行い、事業 進捗を図った。	[自己評価結果]  ウ  [計画どおりに進捗していない理由] 重点的な予算確保に取り組み、用地取得を進め、着実 に事業進捗を図ったが、権利者との用地交渉に時間を要 し、計画していた進捗率には達していない。
										累計	23	28	35	41	43				
進捗率	48%	61%	76%							88%	92%								
完了年度	R7	R7	R7						R7	R7									
実績	事業費	全体	47						47										
		累計	23						23										
		進捗率	48%					49%											
	完了年度	R7	R7																

事業再評価後の取組状況 - 平成30年度 事業再評価実施事業

【対応方針】 事業継続(A)：完了時期を宣言し、重点的に実施するもの  
 事業継続(B)：予算の範囲内で着実に継続実施するもの  
 事業継続(C)：限定的な実施にとどまるもの

【自己評価結果】 ア：計画どおりに進捗している  
 イ：計画どおりに進捗している（事業費進捗率は計画未満）  
 ウ：計画どおりに進捗していない

(単位:億円)

番号	事業種別 [事業所管局] 事業名	事業再評価時点 (対象外事業は未記入)		自己評価時点										
		対応 方針	今後の取組方針	取組状況					元年度の取組内容	自己評価結果 計画どおりに進捗していない、全体事業費や事業期間の 変更をした場合の理由				
				30年度 (事業再評価時)	元年度	2年度	3年度	4年度						
H30-05	街路事業 [建設局] 豊里矢田線(鳴野・蒲生)整備事業	事業継続(B)	今後、当面は予算の範囲内で進捗をはかり、優先的に進める他の路線の収束に伴い予算が確保でき次第、本格的に残る用地取得と橋梁架け替えを含む残区間の道路整備を進め、平成39年度での事業完了をめざす。	計画	事業費	全体	150	150	150	150	用地取得に向け、用地交渉を行い、また設計を行うことで、事業進捗を図った。	[自己評価結果]  ウ  [計画どおりに進捗していない理由] 予算の範囲内で着実に用地取得を進めるなど、一定の事業進捗を図ったが、権利者との用地交渉に時間を要し、計画していた進捗率には達していない。		
						累計	100	102	105	110			116	
						進捗率	67%	68%	70%	73%			78%	
				完了年度		R9	R9	R9	R9	R9				
				実績	事業費	全体	150	150						
						累計	100	101						
						進捗率	67%	67%						
完了年度		R9	R9											
H30-06	街路事業 [建設局] 正蓮寺川北岸線(伝法)整備事業	事業継続(C)	限られた予算の範囲では本路線への重点的な予算配分は難しく、当面の間は、買取の要望に対応するなど限定的な事業実施となるが、今後、優先的に進める他の路線の収束に伴い、予算が確保でき次第、また、阪神なんば線との交差点においては淀川橋梁架替事業の進捗とあわせて事業を実施し、平成43年度での事業完了をめざす。	計画	事業費	全体	68	68	68	68	用地取得を行い、事業進捗を図った。	[自己評価結果]  ウ  [計画どおりに進捗していない理由] 買取要望に対応しながら、用地取得を進めているが、限定的な事業実施にとどめざるを得ない状況であり、用地取得の進捗が遅れたため。		
						累計	28	29	29	29				
						進捗率	41%	42%	42%	42%			42%	
				完了年度		R13	R13	R13	R13	R13				
				実績	事業費	全体	68	68						
						累計	28	28						
						進捗率	41%	42%						
完了年度		R13	R13											
H30-07	街路事業 [建設局] 尼崎堺線(住之江)整備事業	事業継続(B)	今後、当面は予算の範囲内で進捗をはかり、優先的に進める他の路線の収束に伴い予算が確保でき次第、本格的に残る用地取得と道路整備を進め、平成36年度での事業完了をめざす。	計画	事業費	全体	12	12	12	12	用地取得に向け、用地交渉を行い、事業進捗を図った。	[自己評価結果]  ア  [理由]		
						累計	8	8	8	8			11	
						進捗率	64%	67%	67%	68%			89%	
				完了年度		R6	R6	R6	R6	R6				
				実績	事業費	全体	12	12						
						累計	8	8						
						進捗率	67%	67%						
完了年度		R6	R6											
H30-08	道路事業 [建設局] 国道479号清水共同溝整備事業	事業継続(A)	本事業については、共同溝を整備することにより道路の掘り返し防止による都市交通の円滑化、地震災害時のライフラインの安全性向上による都市防災性の向上が図れることから、事業を継続することとし、今後の工事における工事工程管理、工事発注計画について調整し、平成32年度までの完了に向け重点的に実施する。	計画	事業費	全体	110	110	110		中間立坑工事及び路面復旧工事を実施した。	[自己評価結果]  イ  [事業費が計画を下回った理由] 付帯設備工事の見直しを行ったことにより、工事にかかる費用が見込みより減少したため、事業費では計画を下回るものの事業は計画どおりに進捗している。		
						累計	96	103	110					
						進捗率	87%	94%	100%					
				完了年度		R2	R2	R2						
				実績	事業費	全体	110	110						
						累計	98	100						
						進捗率	89%	91%						
完了年度		R2	R2											

事業再評価後の取組状況 - 平成30年度 事業再評価実施事業

【対応方針】 事業継続(A)：完了時期を宣言し、重点的に実施するもの  
 事業継続(B)：予算の範囲内で着実に継続実施するもの  
 事業継続(C)：限定的な実施にとどまるもの

【自己評価結果】 ア：計画どおりに進捗している  
 イ：計画どおりに進捗している（事業費進捗率は計画未満）  
 ウ：計画どおりに進捗していない

(単位:億円)

番号	事業種別 [事業所管局] 事業名	事業再評価時点 (対象外事業は未記入)		自己評価時点								
		対応 方針	今後の取組方針	取組状況					元年度の取組内容	自己評価結果 計画どおりに進捗していない、全体事業費や事業期間の 変更をした場合の理由		
				30年度 (事業再評価時)	元年度	2年度	3年度	4年度				
H30-09	住区基幹公園整備事業 [建設局] 巽公園整備事業	事業継続 (C)	残りの用地買収や施設整備を行い、コスト削減を図りながら、着実に事業実施を進める。	計画	事業費	全体	162	162	162	162	用地取得済の区域について、新設工事を実施した。	[自己評価結果]  ウ  [計画どおりに進捗していない理由] 工事区域で土壌汚染が発覚し、関係機関との協議に不測の時間を要したため、一部の工事で繰越が生じたが、令和5年度の完成を目指し着実に事業を実施している。
						累計	158	159	159	159		
						進捗率	98%	98%	98%	98%		
				完了年度		R5	R5	R5	R5	R5		
				実績	事業費	全体	162	162				
						累計	158	158				
						進捗率	98%	98%				
完了年度	R5	R5										
H30-10	下水道事業 [建設局] 大阪市公共下水道事業（抜本的 浸水対策事業）	事業継続 (B)	浸水対策事業については、市民の安心安全の確保の観点から極めて緊急性の高い事業であり、局運営方針に基づき、既存施設の有効活用、新技術等の導入や他事業連携も検討し、予算の範囲内で大隅～十八条幹線や此花ポンプ場等の実施により、平成35年度での雨水対策整備率81.3%に向けて重点的に事業を実施する。	計画	事業費	全体	9,600	9,600	9,600	9,600	大隅～十八条幹線や此花ポンプ場等の工事を進めた。	[自己評価結果]  ウ  [計画どおりに進捗していない理由] 此花ポンプ場の工事において、掘削時に想定していなかった地中障害物が確認されその撤去に時間を要したため令和元年度は計画どおりに進捗しなかったが、令和20年度末までには事業完了の見込みである。
						累計	6,865	6,951	6,989	7,015		
						進捗率	72%	72%	73%	73%		
				完了年度		R20	R20	R20	R20	R20		
				実績	事業費	全体	9,600	9,600				
						累計	6,865	6,943				
						進捗率	72%	72%				
完了年度	R20	R20										
H30-11	下水道事業 [建設局] 大阪市公共下水道事業（合流式 下水道改善事業）	事業継続 (A)	合流改善事業については、下水道法施行令により達成年限が規定されていることから、局運営方針に基づき、既存施設の有効活用、新技術等の導入や他事業連携も検討し、長堀滞水池や住之江滞水池等の実施により、平成35年度末での事業完了に向けて重点的に事業を実施する。	計画	事業費	全体	2,000	1,500	1,500	1,500	住之江滞水池や長堀滞水池の工事を進めた。	[自己評価結果]  ウ  [計画どおりに進捗していない理由] 住之江滞水池の工事において、天候不良等により工事実施可能な日数が制限されたため令和元年度は計画どおりに進捗しなかったが、令和5年度末までには事業完了の見込みである。  [事業計画の変更理由] 近年の流入水量の減少などから、計画を見直し、対策規模を縮小した結果、全体事業費が減少した。
						累計	1,053	1,143	1,174	1,213		
						進捗率	53%	76%	78%	81%		
				完了年度		R5	R5	R5	R5	R5		
				実績	事業費	全体	2,000	1,500				
						累計	1,053	1,128				
						進捗率	53%	75%				
完了年度	R5	R5										
H30-12	下水道事業 [建設局] 大阪市公共下水道事業（高度処理 事業）	事業継続 (B)	高度処理事業については、法令に基づき下水道事業者がその責務を果たす必要があり、局運営方針に基づき、既存施設の効果的な有効活用や新技術等の導入も検討し、予算の範囲内で水処理施設の更新に合わせた実施により、平成37年度での水質環境基準の達成に向けて重点的・継続的に事業を実施する。	計画	事業費	全体	350	350	350	350	海老江下水処理場などの水処理施設の工事を進めた。	[自己評価結果]  ウ  [計画どおりに進捗していない理由] 海老江下水処理場水処理施設の工事において、掘削時に想定していなかった地中障害物が確認されその撤去に時間を要したため令和元年度は計画どおりに進捗しなかったが、令和7年度末までには事業完了の見込みである。
						累計	37	137	217	248		
						進捗率	11%	39%	62%	71%		
				完了年度		R7	R7	R7	R7	R7		
				実績	事業費	全体	350	350				
						累計	37	94				
						進捗率	11%	27%				
完了年度	R7	R7										

事業再評価後の取組状況 - 平成30年度 事業再評価実施事業

【対応方針】 事業継続(A)：完了時期を宣言し、重点的に実施するもの  
 事業継続(B)：予算の範囲内で着実に継続実施するもの  
 事業継続(C)：限定的な実施にとどまるもの

【自己評価結果】 ア：計画どおりに進捗している  
 イ：計画どおりに進捗している（事業費進捗率は計画未満）  
 ウ：計画どおりに進捗していない

(単位:億円)

番号	事業種別 [事業所管局] 事業名	事業再評価時点 (対象外事業は未記入)		自己評価時点									
		対応方針	今後の取組方針	取組状況					元年度の取組内容	自己評価結果 計画どおりに進捗していない、全体事業費や事業期間の変更をした場合の理由			
				30年度 (事業再評価時)	元年度	2年度	3年度	4年度					
H30-13	土地区画整理事業 [都市整備局] 大阪都市計画事業 三国東地区土地区画整理事業	事業継続(A)	建物移転や公共施設の整備について、他地区の従前居住者用住宅の活用や移転用地・公共施設用地の確保のため換地不交付などの様々な事業促進を図る手法を活用し、平成40年度での完了に向けて着実に事業を継続実施する。	計画	事業費	全体	474	474	474	474	474	様々な移転促進策を活用することにより、早期の道路用地確保など円滑に事業を推進した。	[自己評価結果]  ア  [理由]
						累計	305	321	352	374	392		
						進捗率	64%	68%	74%	79%	83%		
				完了年度		R10	R10	R10	R10	R10			
				実績	事業費	全体	474	474					
						累計	305	321					
進捗率	64%	68%											
完了年度		R10	R10										
H30-14	住宅事業 [都市整備局] 市営住宅建替事業 (大阪市区地域居住機能再生推進事業)	事業継続(A)	「大阪市営住宅ストック総合活用計画」の事業進捗に遅延が出ないよう、今後も予算・国費の確保に努め、「地域居住機能再生推進事業」により計画的に建替事業を推進する。	計画	事業費	全体	1,880	1,880	1,880	1,880	1,880	市営住宅ストック総合活用計画に基づき、市営住宅建替を計画的に実施した。	[自己評価結果]  ア  [理由]
						累計	341	690	869	1,075	1,276		
						進捗率	18%	37%	46%	57%	68%		
				完了年度		R7	R7	R7	R7	R7			
				実績	事業費	全体	1,880	1,880					
						累計	513	737					
進捗率	27%	39%											
完了年度		R7	R7										
H30-15	土地造成事業 [港湾局] 第6貯木場土地造成事業	事業継続(A)	早期の土地利用開始に向けて基盤整備を着実に進める。	計画	事業費	全体	60	60	60	60	60	下水道布設工事を実施した。	[自己評価結果]  ウ  [計画どおりに進捗していない理由] 令和2年度からの土地利用開始に向けて、令和元年度中に基盤整備を完了させる予定であったが、地元調整に時間を要したことから、着手時期に遅れが生じたため、令和2年度に上水道布設工事と舗装工事を実施することとなり、令和3年度からの土地利用開始となった。
						累計	53	59	59	59	59		
						進捗率	88%	98%	98%	98%	98%		
				完了年度		R8	R8	R8	R8	R8			
				実績	事業費	全体	60	60					
						累計	53	57					
進捗率	88%	95%											
完了年度		R8	R8										
H30-16	港湾整備事業 [港湾局] 臨港鉄道整備事業 (北港テクノポート線)	事業継続(A)	平成30年11月に、大阪での万博開催が決定し、会場となる夢洲地区への輸送計画として北港テクノポート線(南ルート)が位置付けられていることから、来場者の輸送に対応するため、平成36年度(2024年度)までに南ルートの鉄道整備を進める。 また、IRについては、夢洲地区のIR実施法に基づく区域認定に向けた手続きが進められており、まちづくりの進捗に合わせた鉄道整備を行い、北ルートの整備については、1期開発に続く2期開発以降における段階的な土地利用の状況に応じて鉄道の事業主体や運営主体などの整備方針が決まった段階で、改めて大阪市建設事業評価有識者会議での審議に諮る。	計画	事業費	全体	694	694	694	694	694	関係者間での協議を実施した。	[自己評価結果]  ア  [理由]
						累計	444	444	473	529	584		
						進捗率	64%	64%	68%	76%	84%		
				完了年度		R6	R6	R6	R6	R6			
				実績	事業費	全体	694	694					
						累計	444	444					
進捗率	64%	64%											
完了年度		R6	R6										

事業再評価後の取組状況 - 平成30年度 事業再評価実施事業

【対応方針】 事業継続(A)：完了時期を宣言し、重点的に実施するもの  
 事業継続(B)：予算の範囲内で着実に継続実施するもの  
 事業継続(C)：限定的な実施にとどまるもの

【自己評価結果】 ア：計画どおりに進捗している  
 イ：計画どおりに進捗している（事業費進捗率は計画未満）  
 ウ：計画どおりに進捗していない

(単位:億円)

番号	事業種別 [事業所管局] 事業名	事業再評価時点 (対象外事業は未記入)		自己評価時点														
		対応 方針	今後の取組方針	取組状況					元年度の取組内容	自己評価結果 計画どおりに進捗していない、全体事業費や事業期間の 変更をした場合の理由								
				30年度 (事業再評価時)	元年度	2年度	3年度	4年度										
H30 -17	街路事業 [建設局] 北野今市線整備 事業			計画	事業費	全体	329	329	329	329	道路整備を行い、事業 進捗を図った。	[自己評価結果]  ア  [理由]						
						累計	319	319	320	329								
						進捗率	97%	97%	97%	100%								
					完了年度	R3	R3	R3	R3									
					実績	事業費	全体	329	329									
							累計	319	319									
				進捗率			97%	97%										
				完了年度		R3	R3											
				H30 -18	街路事業 [建設局] 田辺出戸線（長 吉出戸）整備事 業			計画	事業費	全体			36	36	36		用地取得に向け、用地 交渉を行い、事業進捗を 図った。	[自己評価結果]  ア  [理由]
										累計			35	35	36			
進捗率	97%	97%	100%															
完了年度	R2	R2	R2															
実績	事業費	全体	36						36									
		累計	35						35									
		進捗率	97%					97%										
	完了年度	R2	R2															
H30 -19	街路事業 [建設局] 長吉線整備事業							計画	事業費	全体	34	34	34		用地取得に向け、用地 交渉を行い、事業進捗を 図った。	[自己評価結果]  ア  [理由]		
										累計	33	33	34					
				進捗率	97%	97%	100%											
				完了年度	R2	R2	R2											
				実績	事業費	全体	34		34									
						累計	33		33									
						進捗率	97%	97%										
					完了年度	R2	R2											
				H30 -20	街路事業 [建設局] 生野線整備事業			計画	事業費	全体	40	40	40	40			用地取得を行い、事業 進捗を図った。	[自己評価結果]  ア  [事業期間の変更をした理由] 都市計画道路の整備について優先度の考え方を整理 し、平成28年9月に都市計画道路の整備プログラムを策定 した。その結果、本路線は、重点的に予算確保に取り組 み、事業を実施する路線（事業継続A）となることから、 用地取得を進め、着実に事業進捗を図ったが、権利者との 用地交渉に時間を要したことから、完了年度の見直し が必要となったため。
										累計	37	37	37	39				
進捗率	92%	92%	92%							97%	99%							
完了年度	R5	R5	R5						R5	R5								
実績	事業費	全体	40						40									
		累計	37						37									
		進捗率	92%					92%										
	完了年度	R1	R5															

事業再評価後の取組状況 - 平成30年度 事業再評価実施事業

【対応方針】 事業継続(A)：完了時期を宣言し、重点的に実施するもの  
 事業継続(B)：予算の範囲内で着実に継続実施するもの  
 事業継続(C)：限定的な実施にとどまるもの

【自己評価結果】 ア：計画どおりに進捗している  
 イ：計画どおりに進捗している（事業費進捗率は計画未満）  
 ウ：計画どおりに進捗していない

(単位:億円)

番号	事業種別 [事業所管局] 事業名	事業再評価時点 (対象外事業は未記入)		自己評価時点										
		対応 方針	今後の取組方針	取組状況					元年度の取組内容	自己評価結果 計画どおりに進捗していない、全体事業費や事業期間の 変更をした場合の理由				
				30年度 (事業再評価時)	元年度	2年度	3年度	4年度						
H30 -21	街路事業 [建設局] 中之島歩行者専 用道2号線整備 事業			計画	事業費	全体	23	23	23	23	23	合わせて事業を実施する 予定の中の島5丁目開 発の事業化に向けて、本 路線の整備に関する調整 を進めた。	[自己評価結果]  ア  [理由]	
						累計	22	22	22	22	23			
						進捗率	96%	96%	96%	96%	100%			
					完了年度	R4	R4	R4	R4	R4				
				実績	事業費	全体	23	23						
						累計	22	22						
						進捗率	96%	96%						
					完了年度	R4	R4							
H30 -22	住区基幹公園整備 事業 [建設局] 中之島公園整備 事業			計画	事業費	全体	55	55	55	55	55	用地の権原取得に向け た調整を実施した。	[自己評価結果]  ア  [理由]	
						累計	53	53	54	55	55			
						進捗率	96%	96%	98%	100%	100%			
					完了年度	R4	R4	R4	R4	R4				
				実績	事業費	全体	55	55						
						累計	53	53						
						進捗率	96%	96%						
					完了年度	R4	R4							
H30 -23	街路事業 [建設局] 正蓮寺川歩行者 専用道整備事業			計画	事業費	全体	23	23	23	23	23	令和元年度は歩行者専 用道の整備を行い、事業 進捗を図った。  [事業計画の変更理由] 橋梁部等において盛土化することし、本路線の線形を変更 したため。	[自己評価結果]  ウ  [計画どおりに進捗していない理由] 都市計画道路の整備について優先度の考え方を整理し、 H28.9に都市計画道路の整備プログラムを策定した。その結 果、本路線は、重点的に予算確保に取り組み、事業を実施する 路線(事業継続A)となることから、道路整備を進め、着実に事 業進捗を図ったが、関連事業に遅れが生じたことにより、計画し ていた進捗率には達していない。	
						累計	15	16	16	16	17			
						進捗率	66%	68%	69%	72%	72%			
					完了年度	R7	R7	R7	R7	R7				
				実績	事業費	全体	23	23						
						累計	15	15						
						進捗率	66%	67%						
					完了年度	R7	R7							
H30 -24	公園整備事業 [建設局] 正蓮寺川公園整 備事業			計画	事業費	全体	67	67	67	67	67	新設工事に伴う公園区 域拡張を実施した。	[自己評価結果]  ウ  [計画どおりに進捗していない理由] 年次計画どおりの事業費の確保が出来なかったため、 計画当初に比べて進捗率が低い値となったが、令和7年度 の完成を目指して着実に事業を実施している。	
						累計	32	34	36	38	38			
						進捗率	48%	51%	54%	57%	57%			
					完了年度	R7	R7	R7	R7	R7				
				実績	事業費	全体	67	67						
						累計	25	26						
						進捗率	37%	39%						
					完了年度	R7	R7							